



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場会社名 新光商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8141 URL <http://www.shinko-sj.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北井 暁夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 正木 輝

TEL 03-6361-8111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	103,184	13.8	2,372	43.8	2,427	42.6	1,378	43.7
23年3月期第3四半期	90,659	△0.8	1,650	△9.0	1,702	6.6	959	△9.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 820百万円 (299.0%) 23年3月期第3四半期 205百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	55.78	—
23年3月期第3四半期	38.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	84,412	47,910	56.3
23年3月期	70,743	47,978	67.3

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 47,512百万円 23年3月期 47,609百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	130,000	5.7	2,400	14.1	2,400	12.8	1,400	24.3	56.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	24,855,283 株	23年3月期	24,855,283 株
② 期末自己株式数	342,591 株	23年3月期	101,478 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24,705,524 株	23年3月期3Q	24,754,008 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、新興国の牽引はあったものの、東日本大震災、欧州の財政危機、中国や米国の経済減速さらにはタイ洪水によるサプライチェーンの寸断など大変厳しい環境下で推移いたしました。

当社グループを取巻く環境につきましても、国内においては、第1四半期連結会計期間は、震災により当社の主要仕入先が甚大な被害を被り自動車電装関連を中心に大きく業績への影響があったものの、第2四半期連結会計期間には産業機器関連及び自動車電装関連を中心に予想以上に復旧が進みました。しかしながら当第3四半期連結会計期間においてタイ洪水の影響や欧州の財政危機さらには歴史的な円高の進行の影響を受け、一変厳しい状況となりました。一方、娯楽機器関連につきましては、当第3四半期連結会計期間に当社担当機種が集中したことにより大幅に増加いたしました。

また、海外においても、日系企業向けは震災の影響及びタイ洪水の影響、欧米系企業向けは欧州の財政危機の影響を受け低迷いたしました。一方、娯楽機器関連においては新機種立上げにより好調に推移いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高 1,031億84百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益 23億72百万円（前年同期比43.8%増）、経常利益 24億27百万円（前年同期比42.6%増）、四半期純利益 13億78百万円（前年同期比43.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

電子部品事業

電子部品事業におきましては、売上高は773億32百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

① 集積回路

国内においては、自動車電装関連が第1四半期連結会計期間においては震災の影響により大幅に減少したものの、第2四半期連結会計期間には急回復し堅調に推移いたしました。また、仕入先の統合に伴う商権の獲得により産業機器関連を中心に増加いたしました。海外においては、震災やタイの洪水の影響が大きく影響し北米を除いては低調に推移いたしました。

以上の結果、集積回路の売上高は349億82百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

② 半導体素子

国内においては、第1四半期連結会計期間においては震災の影響があったものの、第2四半期連結会計期間以降回復いたしました。また、仕入先の統合に伴う商権の獲得により電装関連や産業機器関連を中心に増加いたしました。海外においては、震災やタイの洪水の影響が大きく影響し北米を除いては低調に推移いたしました。

以上の結果、半導体素子の売上高は117億56百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

③ 回路部品

国内においては、当社の主要仕入先が震災及びタイ洪水の影響により大きな被害を被ったことから産業機器関連を中心に低調に推移いたしました。

以上の結果、回路部品の売上高は115億24百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

④ 電子管

国内においては、娯楽機器関連向け液晶パネルが業界での部品再利用の加速にともない業界全体の需要が減少しました。

以上の結果、電子管の売上高は42億53百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

⑤ その他電子部品

第1四半期連結会計期間において震災の影響があったものの、娯楽機器関連で当第3四半期連結会計期間に当社担当機種が集中したことにより大幅に増加いたしました。

以上の結果、その他電子部品の売上高は148億15百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

アッセンブリ事業

アッセンブリ製品

国内においては、当第3四半期連結会計期間に娯楽機器関連での当社担当機種が集中したことにより大幅に増加いたしました。また、海外においても、娯楽機器関連向け製品で新規開発案件の立上げもあり売上高は大幅に増加いたしました。

以上の結果、アッセンブリ事業の売上高は220億69百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

その他の事業

電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作

国内においては、自動車電装関連においてハイブリッド車用試験設備の需要が増加し売上高は増加いたしました。

以上の結果、電子機器及びマイクロコンピュータの受託開発、ソフトウェア製作の売上高は37億83百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は775億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ140億39百万円増加いたしました。これは主に有価証券が25億円減少したものの、現金及び預金が44億99百万円、受取手形及び売掛金が90億54百万円、商品及び製品が23億10百万円、未収入金が6億68百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は68億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億70百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が3億91百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、844億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ136億68百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は324億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ112億11百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が3億46百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億円減少したものの、支払手形及び買掛金が119億99百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は40億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億25百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が25億円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、365億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ137億37百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は479億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が6億35百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が2億7百万円、為替換算調整勘定が4億17百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.3%（前連結会計年度末は67.3%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の市場環境につきましては、国内においては震災の復興需要が期待できるものの、タイの洪水被害の影響ならびに欧州の財政危機、さらには歴史的な円高による市場への影響など、非常に厳しい状況が続くものと見ております。

当社グループの平成24年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間において営業利益、経常利益、四半期純利益は既に連結業績予想をほぼ達成しておりますが、第4四半期連結会計期間の市場環境が非常に不透明な状況なこともあり、現在のところ、前回発表（平成23年10月25日）の連結業績予想を変更しておりません。今後、状況が判明次第速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,108	12,608
受取手形及び売掛金	31,966	41,020
有価証券	2,500	—
商品及び製品	12,452	14,763
仕掛品	15	51
繰延税金資産	331	329
未収入金	7,870	8,539
その他	329	310
貸倒引当金	△59	△67
流動資産合計	63,515	77,554
固定資産		
有形固定資産	2,333	2,295
無形固定資産	400	278
投資その他の資産		
投資有価証券	2,300	1,908
繰延税金資産	396	521
その他	1,806	1,861
貸倒引当金	△9	△7
投資その他の資産合計	4,493	4,284
固定資産合計	7,227	6,857
資産合計	70,743	84,412
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,856	27,856
短期借入金	2,752	2,406
1年内返済予定の長期借入金	1,500	500
未払法人税等	172	657
役員賞与引当金	28	21
その他	951	1,030
流動負債合計	21,261	32,472
固定負債		
長期借入金	—	2,500
再評価に係る繰延税金負債	301	263
退職給付引当金	1,042	1,054
役員退職慰労引当金	2	3
資産除去債務	4	4
その他	151	202
固定負債合計	1,502	4,028
負債合計	22,764	36,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,501	9,501
資本剰余金	9,600	9,600
利益剰余金	29,879	30,514
自己株式	△77	△223
株主資本合計	48,904	49,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	△123
繰延ヘッジ損益	—	1
土地再評価差額金	439	476
為替換算調整勘定	△1,818	△2,235
その他の包括利益累計額合計	△1,294	△1,880
少数株主持分	369	398
純資産合計	47,978	47,910
負債純資産合計	70,743	84,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	90,659	103,184
売上原価	83,258	94,888
売上総利益	7,400	8,296
販売費及び一般管理費	5,749	5,923
営業利益	1,650	2,372
営業外収益		
受取利息	17	13
受取配当金	31	32
仕入割引	8	10
為替差益	31	26
固定資産賃貸料	5	5
雑収入	13	19
営業外収益合計	108	108
営業外費用		
支払利息	37	43
雑支出	18	10
営業外費用合計	56	54
経常利益	1,702	2,427
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
投資有価証券受贈益	9	—
その他	0	—
特別利益合計	11	—
特別損失		
減損損失	35	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26	—
投資有価証券評価損	7	64
製品補償損失	—	21
その他	24	8
特別損失合計	94	94
税金等調整前四半期純利益	1,619	2,332
法人税等	571	923
少数株主損益調整前四半期純利益	1,048	1,409
少数株主利益	89	31
四半期純利益	959	1,378

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,048	1,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△102	△208
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	—	37
為替換算調整勘定	△740	△419
その他の包括利益合計	△842	△588
四半期包括利益	205	820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121	791
少数株主に係る四半期包括利益	84	28

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	71,335	15,972	3,350	90,659	—	90,659
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	71,335	15,972	3,350	90,659	—	90,659
セグメント利益又は損失(△)	3,085	462	△284	3,263	△1,613	1,650

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,613百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品事業	アッセンブリ 事業	その他の事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	77,332	22,069	3,783	103,184	—	103,184
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	77,332	22,069	3,783	103,184	—	103,184
セグメント利益	3,031	690	108	3,831	△1,458	2,372

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,458百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門経費及び共通経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。